

発表者のプロフィール



○中村康博(61) 奈良県宇陀市在住 自然農歴 20年 赤目自然農塾代表

「出会い～自然農と大安心の世界～」

7畝の田圃と1反3畝の畑を一人で栽培。田植え、稲刈りなどは家族3人ですることもある。結婚した翌年、当時住んでいた西宮市で阪神大震災に遭う。都会での暮らしがいかに脆弱かを知り、どう生きていくかを問う日々となる。

1999年に妻と一緒に訪れた赤目自然農塾で初めて自然農や川口由一さんの存在を知る。川口さんの立ち居振る舞いや塾の雰囲気から大安心を感じ、すぐに夫婦で入塾する。

2001年より川口さんの実習のお手伝いをするスタッフとなる。

2004年 西宮市から奈良県宇陀市へ移住。

2006年 子供を授かり約一年後、子供と過ごす時間を増やしたくて会社を退職。その後近所の棚田を借り、自給を目指して農的暮らしを始める。

2014年、川口さんより赤目自然農塾の代表を引き継ぎ今に至る。

○中村洋子(53) 奈良県宇陀市在住 自然農歴 20年

「本当のことを学ぶ喜び」

愛知県生まれ。都市郊外のニュータウンで育つ。
結婚後間もなく阪神大震災が起こり、沢山の人の死に直面する。それをきっかけに、価値観が180度変わる。

生き方を模索する中で、川口由一さんと自然農に出会い、赤目自然農塾で学び始める。

その後、スタッフ(台所方、入塾者の案内、実習のお手伝い)としても更に学ぶ機会を得る。

38才の時、念願の田舎暮らしを始め、その翌年、妊娠。「私もいのちだ」と強く実感する。

40才で娘を出産。その後、赤目は卒塾し、子育て中心の農的暮らし。自然農、漢方、そして生命の世界のことを暮らしの中で今も学び続けています。



○石黒完二(63)・文子(61) 富山県富山市在住 自然農歴 30年
富山自然農に学ぶ会主宰

「自然農を生きる — 自足する暮らし—」

田 1.3反、畑約3反(休ませながら2反程作付)

都会育ちの私たちでしたが、百姓になりたくて愛知県の山間部で有機農業を6年。川口由一さんに出会い、田んぼを見て、全て自然農に。より小さな暮らしを求めて、富山の雪深い山里に移り住み、電気やガス、電話のない暮らしを始めました。

沢から水を引き、薪を集めてごはんや風呂を炊く。灯りはランプやろうそくで。学校に行かない5人の子供たちとドタバタ毎日にぎやかに、田畑で仕事をしたり、山で山菜やきのこを採ったり、川で魚を釣ったり、小屋や家を建てたり、本を読んだり遊んだりして暮らしてきました。

冬は2メートルを超える積雪があり、農作業のできる期間も限られます。なかなか自給するまでの作物はできず、上手になったこともあるし、なかなかうまくいかないこともあるし…で、いつの間にか子供たちは育ってゆき、今は、夫婦2人で、やっぱり同じような暮らしをしています。

車も乗るし、チェーンソーや刈払機、発電機(糶摺り、精米、電動工具など)を便利に使っている生活です。

県内で3ヶ所の学びの場があり、それぞれの場所で集まった皆さんと学ばせてもらっています。

夫婦や親子などの人間関係や病気や、生きていけばいろんなことがあるなあと思うこの頃ですが、毎日田畑に立てる、山に生かされる暮らしは幸せだなと実感しています。

